

発見！！

# さがみはら

まんしゅうかいだくだん あさみぞだい まき  
満洲開拓団と麻溝台の巻



殉国碑（緑区青根）



「殉国之士」碑（緑区青野原）

## ● はじめに

昭和のはじめ、世界恐慌（世界中をおそった経済の大混乱）で生活が苦しくなった日本は、中国大陸に進出して経済を立て直そうとしました。国の計画で、農業をするために満洲（中国東北部）に渡った人たちが満洲開拓団です。相模原にも開拓団に参加し、戦後日本に戻って麻溝台の開拓をした人々がいました。

## ● 青根・青野原満洲開拓団

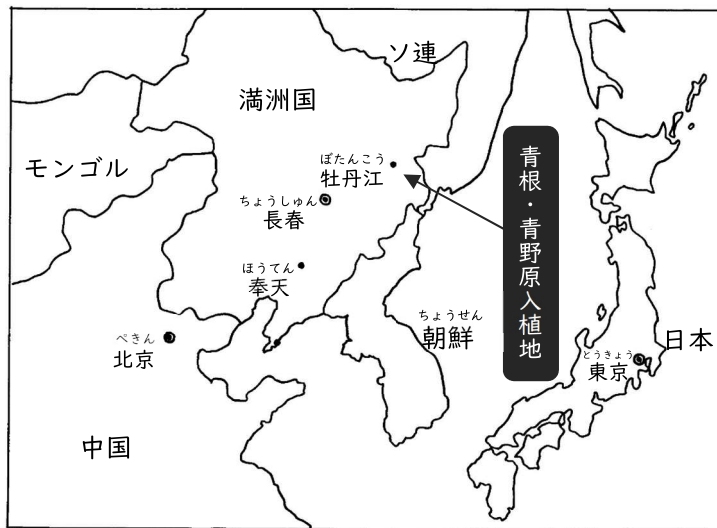
昭和初期の津久井郡青根村と青野原村（今の緑区青根、青野原地区）は山地のため畑にできる土地が狭く、生活が苦しい村でした。そのため経済更正指定村となり、助成金を受け取る代わりに国の進める満洲開拓団に参加することになりました。

太平洋戦争末期の1940（昭和15）年、30人が満洲に向けて出発します。移り住んだ入植地はソ連※との国境に近い、牡丹江省（今の黒竜江省）ムーリン県の町はずれに広がる丘陵地でした。その後も家族や団員を受け入れ、最終的に青根・青野原開拓団を合わせて77家族309人となりました。ムーリンの土地は豊かで作物がよく育ったそうです。日本にいた時の10倍もの畑を持ち、牛、馬、鶏をたくさん飼うまでになりました。

しかし日本の敗戦が決定的となった1945（昭和20）年8月9日、ソ連が突然攻めてきました。それまで一緒に働いてきた現地の人からも襲われ、開拓団の人たちは逃げまどい命からがら日本に帰ってきました。この時、半数近くの方が亡くなりました。（表紙・石碑には犠牲者の名前が記されています）

※ソビエト連邦 ロシアなど15か国を含む広大な社会主義の国で、1922年～91年まであった。

日本と周辺の地図  
（太平洋戦争中）



## ● 麻溝台の開拓

やっと帰りついた故郷でしたが、食料不足で村に居場所はありませんでした。その頃、戦争から帰ってきた軍人や海外からの引き揚げ者、戦争で仕事を失った人たちが農業で生活できるように、国は開拓事業を進めます。陸軍士官学校練兵場の跡地である麻溝台も開拓されることになり、青根・青野原開拓団もこれに加わりました。

開拓には大変な苦勞がありました。鍬1本で荒れ地を掘り起こし、貧しい食事で朝から晩まで必死に畑づくりに打ち込みました。

こうして1946（昭和21）年8月、麻溝台開拓農業生産協同組合（のちの麻溝台開拓農業協同組合）がつくられ、本格的な農業生産がはじまりました。この組合には農業や開拓に詳しい人がいたので、ほかの開拓組合のよい手本となりました。しかし関東ローム層に覆われた相模野台地は、水の出が悪く土の栄養が少ない作物の育たない土地だったので、生活のために出稼ぎに行く人も多かったのです。

1948（昭和23）年には電気が通り、人々の暮らしも少しずつ上向いてきました。戦後のベビーブームで子どもが増えると、開拓した土地を相模原町に寄贈して保育園をつくりました。これが1953（昭和28）年4月にできた麻溝台保育園で、公立の保育園としては全国で2番目です。

収入を増やすために酪農や養豚、養鶏、鑑賞用の花づくりをはじめた農家もありました。1962（昭和37）年頃には横浜や川崎地域の養鶏家が、麻溝台の広い土地を求めて移り住みました。現在では「たまご街道」と呼ばれて、新鮮なたまごやお菓子が買える人気のスポットとなっています。

北部には相模原ゴルフクラブ、北里大学ができました。1965（昭和40）年代になると相模原市の計画によって、たくさんの工場が進出しました。住宅と団地も建てられ、まちの姿は大きく変わっていきました。

## ● 開拓記念碑

麻溝台自治会館のある開拓広場は、もともと開拓団の土地でした。開拓から70年が過ぎ、地域がどのように発展してきたかを知る人も少なくなりました。旧相模原市域にはこうした開拓地が10か所あり、麻溝台はもっとも大きな開拓地でした。戦後の混乱を乗り越え、みんなで支えあいながら作り上げた地域の歴史を伝える石碑です。



### 〈参考にした本〉

- ・『津久井町郷土誌』津久井町郷土誌編集委員会／編  
津久井町教育委員会 1987 (K1-21／津久井)
- ・『相模原市史 現代テーマ編』相模原市教育委員会教育局生涯学習部博物館／編 相模原市 2014 (K1-21)
- ・『麻溝台地区の生い立ち』麻溝台地区郷土誌編纂委員会／編  
麻溝台地区郷土誌編纂委員会 2010 (K1-21)
- ・『津久井町史 通史編 近世・近代・現代』



第78号 令和4年9月

発行：相模原市立橋本図書館

でんわ：042-770-6600

ファックス：042-770-6601

ホームページ <https://www.lib.sagamihara.kanagawa.jp/>